

令和2年8月27日（木）

山本一太群馬県知事

定例記者会見

# 本日の主な項目

- **ガイドラインの見直し**
- **集中PCR検査の実施状況**
- **県産マスクの限定販売 第2弾**

# ガイドライン見直しの背景

1

## 新しい生活様式の定着

～マスクの着用、3密の回避、新しい生活様式の実践～

2

## 医療提供体制の充実

～検査態勢強化、病床確保・宿泊療養施設の確保～

3

## 感染拡大防止策の充実

～発熱報告システム、対策認定制度、LINEパーソナルサポート～

# ガイドライン見直しの基本的な考え方

考え方

1

感染防止と経済活動の両立

考え方

2

「面」から「点」の対策へ

考え方

3

緊急時は機動的に対応

# ガイドラインの運用ルール

警戒度 4

警戒度 3

警戒度 2

警戒度 1

2週間ごとに検討

ただし  
緊急時には機動的に対応

判断基準

① 客観的な数値

② 総合的な状況

# ガイドライン 見直しのポイント

①

**判断基準の見直し**

---

分科会提言や県内実情等を踏まえ

**項目の追加・見直し**



②


**行動基準の見直し**

---

できる限り対象を絞り

**より限定的に**

# ①判断基準の見直し <客観的な数値>

項目		従前の基準（上げる際）		見直し
1 感染状況	(1)新規感染者数	1日平均	<u>7</u> 人以上	20人
		傾向（減少or増加）		
	(2)経路不明の感染者数	全体に占める割合	約 <u>46</u> % 以上	50%
	(3) 検査の陽性率	平均	<u>7</u> % 以上	7 %
2 医療提供体制	(1)重症・重篤例への診療体制	人工呼吸器使用（23台中） <重症者>	<u>14</u> 台以上	①人工呼吸器使用 <b>1 / 2</b> （11台）
		E C M O使用（9台中） <超重症者>	<u>6</u> 台以上	②うちE C M O使用 <b>1 / 3</b> （3台）
	(2) 病床の稼働率	感染者用 確保病床の稼働率	<u>70</u> % 以上	警戒度4 <b>70</b> %以上（211床以上） 警戒度3 <b>40</b> %以上（120床以上） 警戒度2 <b>15</b> %以上（46床以上） 警戒度1 <b>15</b> %未満（45床以下）

※各判断基準は、現状の医療提供体制を逼迫させないことを基にしているため、今後の体制整備の進展に合わせ、基準も変動します。  
 ※ 1 (1)~(3)は1週間の移動平均。新規感染者は、公表ベースです。

# ①判断基準の見直し <総合的な状況>

※修正した項目のみ抜粋

項目		見直し内容
1 感染状況	入院状況	退院基準が短くなったため、直近の状況を <b>月単位</b> でモニターする
	<b>[新規]</b> <b>クラスタの発生状況</b>	<b>クラスタに対し、迅速な実態把握と対策が取られていること</b>
2 医療提供体制	検査件数	感染状況に応じて、 <b>必要な検査を実施</b> できる体制が整備されていること
	院内感染制御	院内感染に対し、 <b>迅速な実態把握と対策</b> が取られていること



## ②行動基準の見直し <個人>

現行

見直し後



警戒度	外出	県外移動
4	×	×
	自粛（生活に必須なものを除く）	
3	△	×
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3密となるハイリスク場所は不可</li> <li>・ 高齢者等のハイリスク者は不可</li> </ul>	
2	△	○
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3密となるハイリスク場所は不可</li> <li>・ 高齢者等のハイリスク者は不可</li> </ul>	
1	○	○

警戒度	外出	県外移動
4	×	×
	自粛（生活に必須なものを除く）	
3	△	△
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3密となるリスクが高く、感染防止対策がとられていない場所へは外出自粛</li> <li>・ 高齢者や基礎疾患者は外出自粛</li> </ul>	感染の拡大している都道府県への 不要不急の移動は自粛
2	△	△
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3密となるリスクが高い場所への外出は十分注意</li> <li>・ 高齢者や基礎疾患者は外出を十分注意</li> </ul>	感染の拡大している都道府県は注意 （特に拡大している場合は自粛）
1	○	○

## ②行動基準の見直し <事業者>

現行

見直し後

警戒度	休業等	勤務形態
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊技・遊興施設、文教施設等の休業要請</li> <li>飲食店の時短営業</li> <li>高齢者施設、病院等での面会は禁止</li> </ul>	テレワークの推奨 (7割目標)
3	<p><b>一部解除</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者施設、病院等での面会は禁止</li> </ul>	テレワークの推奨 (5割目標)
2	<p><b>全面解除</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者施設、病院等での面会は禁止</li> </ul>	テレワークの推奨 (3割目標)
1	<b>全面解除</b>	テレワークの推奨



休業等	勤務形態
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>感染拡大の恐れのある業種の施設等への休業要請や営業時間の短縮要請</b></li> <li>高齢者施設、病院等での面会の禁止</li> </ul>	テレワーク (7割目標)、時差出勤等を強く推奨
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>感染防止対策がとられていない施設等への休業要請</b></li> <li>高齢者施設、病院等での面会の禁止</li> </ul>	テレワーク (5割目標)、時差出勤等を推奨
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者施設、病院等での<b>直接面会は十分注意</b> (オンライン面会等の推奨)</li> </ul>	テレワーク (3割目標)、時差出勤等を推奨
	テレワーク、時差出勤等を推奨

## ②行動基準の見直し <イベント>

現行

警戒度	イベント
4	× (実施不可)
3	△
	<u>10人以下のものは可</u>
2	△
	<u>50人以下のものは可</u>
1	○



見直し後

イベント	
屋内	屋外
× (実施不可)	
10人	20人
50人	100人
100人	200人
1,000人	
5,000人	
上限なし	

※国の基本的対処方針も踏まえながら、県内感染状況に応じて判断

## ②行動基準の見直し <学校>

現行

警戒度	学校
4	×
	・登校なし ・部活自粛
3	×
	・登校なし ・部活自粛
2	△
	・分散登校 (週2～3日) ・部活自粛
1	△→○
	分散(週5) →通常登校



見直し後

学校
感染状況等に応じて 学校単位もしくは地域や全県で <b>休業等</b> <b>(部活自粛)</b>
学校単位で <b>分散登校、授業短縮、時差登校等</b> <b>(部活一部制限)</b> ただし感染状況等によっては通常登校
<b>通常登校</b> ただし感染状況等に応じて 学校単位で分散登校等
<b>通常登校</b>

# 4段階の警戒度と行動基準（見直し後）

警戒度	個人			事業者		【参考】 学校
	外出	県外移動	イベント	休業等	勤務形態	
4	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染拡大の恐れのある業種の施設等への休業要請や営業時間の短縮要請</li> <li>高齢者施設や病院等での面会の禁止</li> </ul>	テレワーク（7割目標）、時差出勤等を強く推奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染状況等に応じて学校単位もしくは地域や全県で休業等（部活自粛）</li> </ul>
3	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止対策がとられていない施設等への休業要請</li> <li>高齢者施設や病院等での面会の禁止</li> </ul>	テレワーク（5割目標）、時差出勤等を推奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校単位で分散登校、授業短縮、時差登校等（部活一部制限）</li> </ul> <p>ただし感染状況等によっては通常登校</p>
2	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者施設や病院等での直接面会は十分注意（オンライン面会等の推奨）</li> </ul>	テレワーク（3割目標）、時差出勤等を推奨	<p>通常登校</p> <p>ただし感染状況等に応じて学校単位で分散登校等</p>
1	○	○	△	別表による	テレワーク、時差出勤等を推奨	通常登校

- ※1 全段階で「新しい生活様式」を実践、多様な感染防止対策（業界ごとの感染防止ガイドラインなど）を徹底  
 ※2 感染状況や国の基本的対処方針に基づき、部分的に上位の警戒度の要請等を行う場合あり

# 警戒度移行の判断基準

## <客観的な数値：感染状況>

項目		基準の内容		現在値(8/26)	前回値(8/19)
1 感染 状況	(1)新規感染者数	1日平均	20人	<u>10.1</u> 人	<u>13.1</u> 人
	(2)経路不明の感染者数	全体に占める割合	50%	<u>40.8</u> %	<u>32.6</u> %
	(3)検査の陽性率	平均	7%	<u>4.1</u> %	<u>6.5</u> %

※各判断基準は、現状の医療提供体制を逼迫させないことを基にしているため、今後の体制整備の進展に合わせ、基準も変動します。  
※(1)～(3)は1週間の移動平均。新規感染者は、公表ベースです。

# 警戒度移行の判断基準 <客観的な数値：医療提供体制>

項目		基準の内容		現在値(8/26)	前回値(8/19)
2 医療提供体制	(1)重症例への診療体制	①人工呼吸器使用 (23台中)	1 / 2 (1 1台)	<u>0</u> 台	<u>0</u> 台
		②うちECMO使用 (9台中)	1 / 3 (3台)	<u>0</u> 台	<u>0</u> 台
	(2)病床の稼働率	感染者用 確保病床の稼働率 (302床中)	警戒度4 70%以上 警戒度3 40%以上 警戒度2 15%以上 警戒度1 15%未満	<u>30.1%</u>	<u>30.1%</u>

※各判断基準は、現状の医療提供体制を逼迫させないことを基にしているため、今後の体制整備の進展に合わせ、基準も変動します。

# 警戒度移行の判断基準

＜総合的な状況 抜粋＞

項目		評価	内容
感染状況	介護施設等の状況	◎	県内全施設の入居者・職員をモニター中
	近隣都県の感染状況	○	東京都の実効再生産数 <b>0.98</b> (8/24現在群馬大学による計算)
	入院状況	◎	平均在院期間 <b>11.3</b> 日 (7月)
	クラスターの発生状況	○	7月 1件、8月 2件
医療提供体制	PCR検査件数	◎	1日当たりの検体採取能力 <b>174</b> 件 (8/26現在)
	一般医療への影響	◎	感染症指定病院等で、 <b>大きな影響は生じていない。</b>
	宿泊療養施設の確保等	◎	150室を運用し、 <b>19</b> 人入居中 (8/26現在)



# 警戒度2 における 要請

個人		
外出	県外移動	イベント
① 3密となるリスクが高い場所 ② 高齢者・基礎疾患患者  <b>外出は十分注意</b>	<b>東京 神奈川 大阪 沖縄</b>  不要不急の外出は <b>自粛</b>	上限 <b>5,000人</b>
事業者		【参考】 学校
休業等	勤務形態	
高齢者施設や 病院等での直接面会  <b>十分注意</b> (オンライン面会等を推奨)	テレワーク 3割目標  時差出勤等 推奨	<b>通常登校を継続</b>  県外移動を自粛すべき地域 との対外試合等は自粛 ※ 全国大会の代替大会は除く

# 「夜の街」集中PCR検査の実施状況

検査実施期間を **9 / 4** 金 FRI まで **延長**

## 現在までの実施状況

8月27日現在

検体採取

**18** 店舗 **179** 名 (予定)

検査結果

陽性 **3** 名 (陰性 48名、今後判明 128名)

# 第2回 群馬県民限定 マスク販売

県民  
限定

県内生産マスク **2,000**セット先行販売



製品イメージ

抽選販売

1セット **100**枚  
(50枚/箱×2箱)

**¥ 3,000**  
(消費税・配送料・代引き手数料込み)

抽選販売 申込受付期間

**9 / 1** 火  
TUE

**10:00**



**9 / 7** 月  
MON

**17:00**


抽選販売の応募は、**県HP** から  
(当選者には、**9月10日(木)**に**メール**でお知らせ)

# 愛郷ぐんまプロジェクト 利用実績

キャンペーン期間

6 / 5  FRI



7 / 31  FRI

## 利用実績

32万7千人泊

群馬県民限定

愛郷ぐんまプロジェクト

「泊まって！

応援キャンペーン」





# 群馬県知事 山本一太の「直滑降ストリーム」

ゲスト

田中 仁

株式会社

ジーンズホールディングス

代表取締役CEO

令和2年8月27日（木）19時50分～

tsulunos で **ライブ配信**

